

令和6年度学校評価報告書

令和7年3月24日

北海道教育委員会教育長 様

北海道上ノ国高等学校長 吉 田 享 平 印

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 1

生徒理解を深め、一人ひとりの可能性を最大限引き出す教育の実践
- 2

社会変化を前向きに捉え、持続可能な地域社会の創り手としての主体性と当事者意識を育む学びの実現

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	・小中学生を招いての海外研修報告会、小学生へのピアサポート活動、ふるさと高校生議会などの取組を通じ、地域づくりの一員としての当事者意識を育む教育の充実を図った。 ・いじめ根絶討論会、校則検討委員会など学年の壁を越えた「対話」文化を大切にする活動を実施した。 ・不登校生徒へのオンライン授業配信を実施した。 ・PTA組織の見直しや自動車学校説明会の簡略化など業務改善を行い働き方改革を推進した。	・小中学生に興味関心を抱かせる活動が行われている。上高生を目標にする児童生徒が増え、地域に愛着を感じ地元根付くようになると高校、地域ともに元気になる。 ・小さい町だからこそ小中高の生徒が対話できる環境をつくりやすい。マイナスをプラスにできる工夫をお願いしたい。 ・遠隔授業やオンライン授業の実施など、小規模校でも個々の生徒に対して工夫した学習の場を設けていただいていることは大変ありがたい。
改善方策	・いじめ根絶討論会を上ノ国中学校の生徒も交えて実施することで「学びの共同体」の活動充実につなげる。 ・各教科の授業等、高校生と小中学生との交流を促進する。 ・上ノ国町以外の家庭へのPTA活動の理解促進に努める。 ・視野を広げた生徒募集も含め、持続可能な学校運営について上ノ国町とのさらなる連携強化を図る。	
教科指導	・少人数のメリットを生かし、各教科等でアウトプット活動を充実させた。 ・ブリティッシュ・ヒルズ国内留学研修を導入し、「英語の壁」を下げNZ海外研修へつなげる一連の流れをつくった。 ・T－b a s e遠隔授業の質の向上が図られ、デメリットを感じさせないアクティブな授業が展開された。	・ブリティッシュ・ヒルズでの研修は英語への苦手意識をかなり軽減させ、学習全般に対する意欲を引き出すことにもつながっている。もっと挑戦できる場所をつくってやりたい。 ・自分たちの時とは時代が変わってきている。個々の生徒のために様々な取組を可能な限りお願いしたい。
改善方策	・各教科（含 総合的な探究の時間）でのアウトプット活動を更に充実させ、人前で自分の考えや意見をしっかり相手に伝えるスキルの向上を図る。	
進路指導 学校行事等	・3年生は、ほぼ希望する進路実現を果たした。 ・地学協働C oの配置により地域との協働の充実が図られ、コンソーシアムの2回開催などにつながった。 ・部活動では、生徒の希望を少しでも叶えられるよう積極的に大会参加を行った。 ・学校だより『上高彩時記』を毎月発行し、	・義務感などではなく、興味関心・当事者意識を強く持つコンソーシアムメンバーの輪が広がることは、学校だけでなく地域の未来に直結する。工夫改善を行いながら大切に育ててほしい。 ・情報発信の在り方を工夫し、学校の取組や上ノ国高校の良さを地域の人に周知すべき。上ノ国高校に活気があり、

	- P R活動を充実させた。 - 危険な箇所の修繕をスピード感を持って実施した。(生徒玄関等) - 小中高合同交通安全キャンペーンを実施し安全教育の意識を高めた。	評価されることは、町にとってもプラスになる。今後も持続した取組を期待したい。 各行事のマンネリ化は後退につながる。改善すべきは速やかに行ってほしい。
改善方策	- 進路に係る情報提供・ガイダンスの充実を図る。 - 地域と連携を通じた上高祭の充実を図る。 - 地学協働C oが円滑に機能する環境整備を行う。 - 学校P R活動の充実を推進する。 - 小中高合同交通安全キャンペーンの実施方法について関係機関との連携を検討する。	
特別支援教育	- 生徒支援委員会を中心に、行政や専門の関係機関と連携し粘り強く生徒や保護者への支援を継続してきた。 - 専門家を招き、職員・P T A研修を行い最新の知見を学んだ。	特別支援教育に関する研修を保護者とともに開催したことは、保護者にとってありがたいことはもちろん、先生方の意識向上にもつながり大きな成果があったと思う。
改善方策	- 校内外の連携を密に、生徒個々の特性に応じた適切な教え方、関わり方について職場全体で研修を深めていく。 - 家庭での生活、指導に役立つよう保護者との連携を進めるため、校内研修や学校保健委員会等の在り方について改善を行っていく。	
公表方法	学校運営協議会委員に自己評価の結果、改善方策、生徒及び保護者アンケートの結果を説明するとともに意見をいただいた。また、学校だより、学校ホームページで公表する。	

3 添付資料

- ・自己評価書
- ・生徒及び保護者アンケート結果